



営農NEWS



夏播きアブラナ科野菜類の生育初期における 害虫被害の発生を防止しましょう

夏播きアブラナ科野菜の播種や定植後におけるチョウ目を主体とした害虫防除には、現在、播種前や定植時に植穴や株元に粒剤を処理したり、育苗の後期から定植前にセル成型育苗トレイなどに処理できる残効期間の長い薬剤が登場しており、これらを事前に処理しておきますと、使用する薬剤により持続期間は異なりますが、2 週間～1 か月くらい防除効果が期待できるようになりました。その後は、薬剤抵抗性害虫の出現を抑制するため、播種や定植期に処理した薬剤とは異なる他系統の有効薬剤とのローテーション防除することで、被害発生を大きく減少させています。

なお、近年、**ジアミド系剤（プレバソン、フェニックスなど）では、コナガに対して防除効果の低下している圃場が確認されています。**ジアミド系薬剤は、ハスモンヨトウやオオタバコガ等の大型チョウ目害虫には高い効果があるため、コナガが問題になる場合には、**ジアミド系以外の有効薬剤と組合わせてローテーションで対応してください。**

キャベツやハクサイ、ブロッコリー、ダイコンなど夏播きのアブラナ科野菜類において、播種後や育苗中、定植後の本圃初期に寄生する主な害虫として、アオムシやヨトウガ、コナガ、ハイマダラノメイガなどのチョウ目害虫や、アブラムシ類などがあります。

このうち、**ハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）**の被害は、作物の芯が止まって生育不良や奇形となり、著しく商品価値が低下します。発生は年次変動しますが、**高温少雨の年には多発生する傾向**があるので、注意が必要です。

【育苗中における病害虫防除のポイント】

- 1 育苗場所は事前に清掃や消毒を行い、育苗中も清潔を保つように努め、**側窓や天窓など開口部に防虫ネットを必ず張って**、害虫の侵入を防ぎましょう。
- 2 育苗中は**適度なかん水に努め**、過湿、過乾燥にならないように注意します。また、**生育に応じて株のずらしや、通風、採光を良好に保って健苗な株を育てます。**
- 3 育苗中は病害虫の発生を常に注意深く観察し、確認したときは早期に薬剤防除を行ってください。病害虫の発生した株は、育苗ハウスから持ち出して適切に処分し、本圃には持ち込まないようにします。

表 1 主なアブラナ科野菜の播種後や育苗中、定植後に散布処理する主な防除薬剤（平成 28 年 8 月 8 日現在）

作物・害虫名 薬剤名（系統）	キャベツ					ハクサイ				ブロッコリー				ダイコン		
	アオ	ヨトウ	コナガ	ハイマ	アブラ	アオ	ヨトウ	コナガ	アブラ	アオ	ヨトウ	ハイマ	アブラ	アオ	ハイマ	アブラ
ディアナ SC（スピノシン）	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	
アニキ乳剤（マクロライド）	○		○	○		○		○		○				○	○	
モスピラン顆粒水溶剤（ネオニコチノイド）	○		○		○	○		○	○	○			○	○		○
コテツフロアブル（－）	○	○	○	○		○	○	○		○	○			○		
パダン SG 水溶剤（ネイストキシン）	○		○	○	○	○		○	○					○		○
アクセルフロアブル（－）	○	○	○	○		○	○	○			○				○	
トレボン乳剤（ピレスロイド）	○	○	○		○	○	○	○	○					○		○
ファルコンフロアブル（IGR）	○	○	○	○		○	○				○			○		
ジェイエース水溶剤（有機リン）	○	○	○		○	○	○	○	○							

害虫名は、アオ：アオムシ、ヨトウ：ヨトウムシ、ハイマ：ハイマダラノメイガ、アブラ：アブラムシ類を略して表示しました。

表 2 主なアブラナ科野菜の播種時または育苗期後半～定植時に処理する主な防除薬剤（平成 28 年 8 月 8 日現在）

薬剤名（系統）	処理方法	キャベツ	ハクサイ	ブロッコリー	カリフラワー	ダイコン
ベリマーク SC（ジアミド）	セルトレイ等※への薬液灌注	○	○	○		
ジュリボフロアブル（ジアミド+ネオニコチノイド）	セルトレイ等※への薬液灌注	○	○	○		
プレバソフロアブル 5（ジアミド）	セルトレイ等※への薬液灌注	○	○	○	○	
スタークル顆粒水溶剤（ネオニコチノイド）	セルトレイ等※への薬液灌注	○		○		
ダントツ粒剤（ネオニコチノイド）	株元処理、植穴処理など	○	○	○		○
ジェイエース粒剤（有機リン）	植穴処理、作条または株元散布	○	○	○		○

注 1) ※印は、セル成型育苗トレイ 1 箱またはペーパーポット 1 冊（30×60cm・使用土壌約 3L）を略しました。

2) 各薬剤の対象害虫および処理法は、作物により異なります。使用内容を確認し、適切に処理してください。

農業使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040